

## 令和3年度1学期始業式 校長挨拶

おはようございます。海軍道路の桜が散り、桜吹雪の中、学校へ向かうと新しい年度がスタートする緊張と同時にワクワクする気持ちになります。終業式でお話しましたが、まずコロナ感染症対策はしっかりと徹底してください。また各自が自分の目標に向けて全力で取り組んでください。先生方はそんな皆さんをしっかりと支えてくれます。さて、新2年、新3年になり、新しいクラスで新しい友達もできると思います。その時にぜひ、クラスの中で自分ってどう思われているのかなと立ち止まって自分を客観的に見るができるようにしてください。例えば大声で冗談を言い合っ、自分たちは盛り上げていても、教室の中には、コロナ禍で不安に思っている人もいます。皆さんがちょっと人にやさしく、人の気持ちを意識して生活すれば、皆さんにとって居心地の良い最高のクラスをつくることができると思います。このことは大人の社会でも全く同じです。

新2年生の皆さん、2年生の過ごし方でほぼ進路の方向づけは決まっていきます。できれば、自分の目標を家族に話し、家族の応援を得てください。大変重要な一年になります。様々な活動でも中心的な活躍が期待され、忙しい一年になると思いますが、全力で挑戦して下さい。新3年生の皆さん、最上級生になります。挨拶や登校マナー、人との接し方といった学校のルールに決められていなくても、人として大切なことも、最上級生として見本を新2年生に示してください。卒業していった41期生の先輩は立派な卒業式を終えました。あと2年間しかない瀬谷西の中で今までの最高の学年を目指して頑張ってください。今年は進路決定の時期を迎えます。そのことを強く意識して、勉強や部活に全力で取り組むことを期待します。

令和5年の完校に向けて今年は2、3年生のみになります。1年生がいないことは学校にとって寂しいものですが、他の学校にない貴重な体験ができるかと前向きに考えてほしいと思います。先生方もあと2年で完校するというゴールが見えているので、そこに向けて全力で進んでいこうと思っています。

さて、台風の影響で倒木の恐れから立入禁止にしていた「思索の森」をこの春休みに整備して、散策できるようになりました。「思索の森」は、本校ができる前から残っている貴重な自然林で、米軍が使用していた上瀬谷通信施設に影響を与えないよう設計された本校にとり大切な森でした。初代鈴木校長が、京都にある「哲学の道」のようにという気持ちを込めて「思索の森」と名付けたと聞いています。

本校から目と鼻の先に上瀬谷通信施設の跡地は、瀬谷区と旭区にまたがる広大な自然が残された平坦地で、2027年に国際園芸博覧会が開催されます。6年後ですね。本校の「思索の森」も同じように当時から残された自然林なわけです。先輩たちが大切に守ってきた森を未来に残せるとよいですね。皆さんも大切に守ってください。以上で1学期始業式の挨拶といたします。